

森林の役割（緑地の役割と重複するが）

自然面-----

- 1 . O₂ の生産 , CO₂ の固定
- 2 . 生きものの生息場所
 個体・遺伝子の保持
 複雑な系である森林生態系の保持
- 3 . 水の浄化 , 保持 , 洪水防止
 涵養（かん養）機能（緑のダム）
- 4 . 温度調節 , 湿度調節

人間社会に対して-----

- 5 . 材の生産
- 6 . その他生物資源の生産 , 保持

最近は-----

- 7 . 二次太陽エネルギーの生産 , 保持
- 8 . 大気汚染緩和
- 9 . アメニティー機能（波）
- 10 . 環境教育の場 , グリーンツーリズムの対象

環境科学 / 生物学の重要性

生物学の重要性

- 1 . 人類の生産 / 生活活動 地球生態系が数十億年かけて作り出してきた遺伝子集団を , 歴史から見ると「一瞬」のうちに破壊してしまう力をもつ。
- 2 . 人間は地球生態系の恩恵を受けてのみ生きられる (現在の科学レベルでは確実 , 将来もその可能性は極めて大) 。
- 3 . このため , 生物 (科) 学はより重要な位置づけとなってきた。

その中でも，なぜ，森林科学が重要か？

- 1．森林は，遺伝子プールとして重要である
- 2．生物複合社会を有している
 - ・生態系の中に高度に発達した複雑な系を有している
 - ・優占種としての木本植物をはじめ，草本植物，シダ植物，コケ植物，地衣植物，菌類，変形菌類，ラン藻類等の進化の各系統の遺伝子を今日に伝えている植物種が複雑に「共存」している
 - ・動物相でも，土壤動物からほ乳類まに至るまでの各系統にわたる種が存在する

- ・ 個々の種ごとに「特性」がある この特性を知りうることは、地球上の生物科学の全てをフォローすることにつながる
- ・ 様々な環境条件に応じた種の多様性と種内変異が存在する 進化 / 適応を知る
- ・ ライフスパンが数百年の樹木から数分のウイルスまでを包括した系
- ・ 複雑な世代交代の全体像を捉えるためには格好の場所である

森林は
成立した要因によって大きく二つに分けられる

1．天然林

2．人工林

気候帯/植生によっても分けられる
(スライドで説明)

天然林

原生林

自然に成立，手付かすの自然の森林
ex．白神の森，富士の樹海
一次林ということもある

天然二次林

自然の森に人為的な手が入った森林
ex．薪炭林，公園林，神社林
各所の雑木林，綾の照葉樹林，
屋久島の樹林

人工林

生産林 材，燃料などの森林資源を得るために植林された森林

ex．スギ林，ヒノキ林，アカマツ林，果樹園，薪炭林（雑木林）

経済林ということもある

風致林 景観を良くするために植林された森林

ex．公園林，神社林，緩衝樹林，街路樹

風景林ということもある

その他，植生からの仕分けもある

- ・ 植生，土地利用区分，成立の状況を組み合わせて樹林の名前をつけることが多い

- ・ 日本での例

コナラ二次林（人工林，天然林の両方がある）

天然コナラ二次林とコナラ二次林に区分することもある

アカマツ二次林

「里山」は実態のないファンタジーである